



ワンマン運転実施における諸課題の解決を求める申し入れ

5月9日 団体交渉を行う!

中編成ワンマン運転実施以降、問題が多く発生している!
現在の短・中編成ワンマン運転における課題の解決を図ることなしに、
今後のワンマン運転の拡大・長編成ワンマン運転の実施は認められない!

1. 短・中編成ワンマン運転実施における事故・事象の発生件数並びに原因と対策を具体的に明らかにすること。

(回答) ワンマン運転を拡大した線区において、鉄道運転事故につながる可能性のあった事象はない。 引き続き、安全対策は実施していく考えである。

停止現示で起動開始、ホームと反対側のドア開扉など、ワンマン運転実施以降、
数多くの事故・事象が発生している! ワンマン運転によりこれまでの運転操縦に
加え、乗降確認やドア扱いなど作業量が増えたことに起因するものだ!

中編成ワンマン運転実施線区における以下の事故・事象の発生件数を求める!

- ◆ 停止現示で起動開始した事象
- ◆ 駅間停車中にお客さまがドアコックを扱い降車した事象
- ◆ 乗降扱い中、電車が流転した事象
- ◆ ホームを外れてドア開扉した事象
- ◆ 白杖などの戸挟まりの事象
- ◆ ドア閉扉後にお客さまがけがをされた事象

「ワンマンでもツーマンでも発生する事象」と述べる会社の
安全軽視・現場軽視・真実から目を逸らし誤魔化そうとする姿勢は、
究極の「安全」の実現、グループ安全計画 2028 で掲げる

「本質をふまえ、想定外も想像して安全を先取る」ことなど

できるはずがない!

現場と安全に対する考えが乖離することでは安全は守れない!
修正回答を検討することを確認し、1項途中で終了!